

「調査書」作成上の注意

各欄とも第5学年については児童指導要録に記入してある評価・評定、その他の事実を該当欄に記入してください。

第6学年については記入時点までの評価・評定、その他の事実を、児童指導要録の記載要領に準じて該当欄に記入してください。不明な点については岡山大学教育学部附属中学校教頭に問い合わせてください。

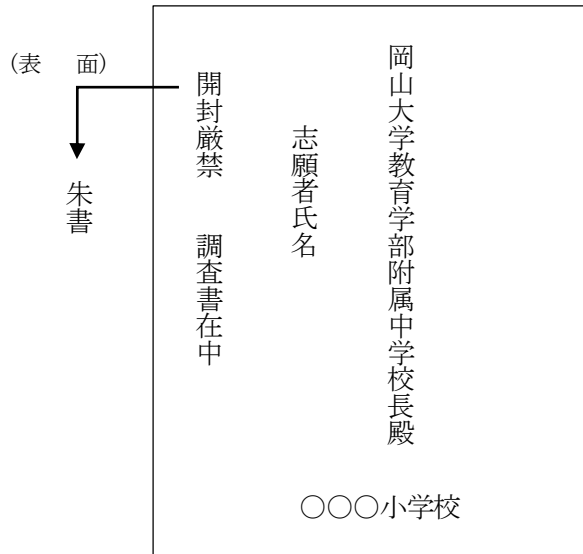
なお、提出書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、出願資格、合格及び、入学決定後であっても入学資格を取り消す場合があります。

1. 本校に提出する調査書は、小学校等が本校ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。
2. 各教科の学習の記録
 - (1) 観点別学習状況・・・A, B, Cで記入する。
 - (2) 評 定・・・・・・1, 2, 3で記入する。
3. 外国語活動の記録及び総合的な学習の時間の記録…学習内容や評価について記入する。
4. 特別活動の記録
活動の状況・・・・・・・・○印で記入する。ない場合は「・」を記入する。
5. 行動の記録
行動の状況・・・・・・・・○印で記入する。ない場合は「・」を記入する。
6. 総合所見及び参考となる諸事項
下記のような指導上参考になる事項について、事実や所見について記入する。
 - (1) 第6学年における各教科、外国語活動、総合的な学習の時間における特徴的な事実や指導上参考になる所見。
 - (2) 第6学年における特別活動における活動状況の事実や、個人として比較的優れている点、特徴、活動の状況の進歩が著しい点などの所見。
 - (3) 第6学年における全体的にとらえた児童の特性および行動面で優れている点などの事実や所見。
 - (4) その他、身体の状態、児童の適性、特技(資格、段位等も含む)等の参考となる事項。
 - (5) 特にない場合は「特記事項なし」と記入する。
7. 出欠の記録
「欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数の計が15日以上又は連続して6日以上ある場合、その主な理由を記入する。6学年については10月末日までの欠席数を記入する。
8. その他の留意事項
 - ア ※欄は記入しないこと。
 - イ 誤記については、二重線を引き訂正し、記入者の印を押印する。
 - ウ 道徳科の評価は調査書に記入しない。
 - エ 教科「英語」を実施し、観点別学習状況を指導要録に記入している学校は、2に準じて「英語」の欄に記入する。その場合、「外国語活動の記録」の欄には斜線を引く。なお、評価の観点については必要に応じて観点を修正・追記する。
 - オ 教科「英語」を実施しているが、指導要録に評価を記入していない学校は、「評定」の欄に斜線を引く。

カ 教科「英語」を実施していない学校および、教科「英語」を実施しているが観点別学習状況を指導要録に記入していない学校は「英語」の欄に斜線を引く。

キ 教科「英語」を実施し、指導要録に「外国語活動の記録」を記入している学校は、3 に準じて「外国語活動の記録」の欄に記入する。

9. 調査書は、封筒(長形3号)に次のように記入等をして封入する。裏面には「緘印」を捺す。



* 封入するときには調査書を折り曲げてよい。